

学校教育目標	校訓「みずから学び、みずから鍛え、みんなと生きる」を体現する生徒の育成								
重点努力目標	(1)アクティブ・ラーニングの視点に基づいた授業を実践することによって、基礎・基本の徹底と思考力・判断力・表現力の向上をバランスよく図り、自ら課題意識を持って主体的に学習に臨み、友と高め合うことのできる生徒を育成する。 (2)失敗を恐れず挑戦する気概、辛抱・我慢して困難に打ち勝つ精神力、怠惰に流されず自己コントロールできる力をすべての教育活動を通じて鍛え、強くたくましい心と体を備えた生徒を育成する。 (3)学級や部活動、また地域社会との関わりの中で人に喜んでもらうために自分には何ができるかを考え行動することが、結果的に自己理解や自分を大切にすることにつながることを実感させ、夢や希望、やる気を持った生徒を育成する。								
分掌重点目標	安心・安全で快適な学校生活の実現								
柱となる活動	3学期への提言	常時活動	1月	2月	3月	到達目標	評価基準 (Check)	成果と課題 Do & Check	3学期への提言 Action
みずから学ぶ活動	安全点検実施日を決めて、実施する。 安心・安全な学校づくりをめざし、3学期は故意による修繕件数0へ 印刷機とコピー機との使い分けの徹底をお願いしたい。1原稿15枚以上は印刷機使用 冷暖房の設定温度を個人的な感覚で決めない。規定の順守。 「1枚だけ、ちょっとだけ」をなくそう。費用は住民の税金で賄われていることを意識しよう。	◎学校内にある設備・備品の適正な管理と運用 ◎生徒の安全意識や省エネ意識の向上	○1月安全点検	○2月安全点検	○3月安全点検	生徒・教員が学校設備や備品の適切な運用を行っている。	安全点検の実施率100% 毎月の安全点検に挙がる修理の必要な箇所5箇所以内 故意による修繕費0円 使用量昨年比3%減		
みずから鍛える活動	年度末を迎えるにあたり、3学期の成績、年間の成績等処理が増えるので、生徒のデータの保存など、再度徹底する。	◎危機管理に対する教職員の意識の向上				教員が危機管理の各種マニュアルに沿った行動をとることができる	インターネット・パソコン利用規程を逸脱する行為0件		
みんなと生きる活動	少し早目の週案計画により、授業時間数の調整を行う。 年度末を迎え、業務は増えるが、優先順位を考えながら計画的に仕事をする。	◎学校教育目標に向けて、適切な教育課程の編成と運用 ◎各分掌・学年が働きやすい職場環境をつくる				教育課程の適切な実施を行っている	教職員質問紙「教育課程の実施に向けた努力や授業時間数の確保」肯定的評価90% 規定授業時数の100%実施		